

新タイプ

正確な調色には、ピタリ調色塗板

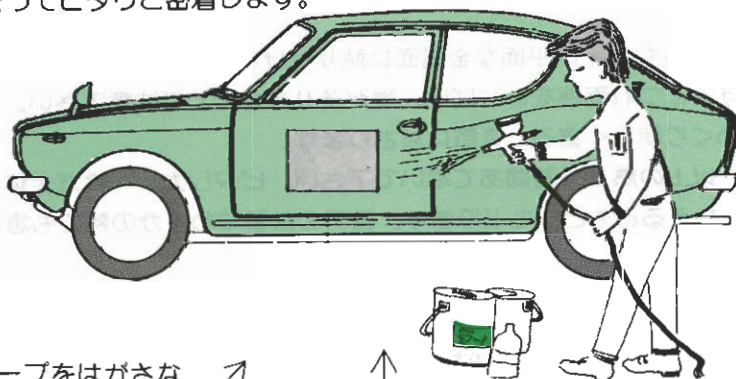
ピタリカラー[®] ネオ

調色のなやみを解消…

正確に、すみやかに、あなたを調色の名人にする必需品



ボデーのアールに
そってピタリと密着します。



メタリック塗装も正
面から傾面からの判
定でラクラク調色ピ
タリです。

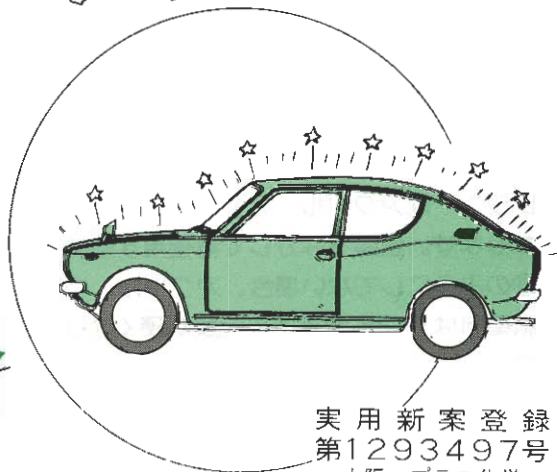
紙テープをはがさな
いでその上から塗装
して下さい。



そのまま何回も
塗り重ね出来ます。

再度使用する時は最初
のように紙テープを貼っ
て塗装するとより一そう
単にはがれます。

サスガ!!
調色の名人



実用新案登録
第1293497号
大阪・プラス化学

※裏面の説明をよくお読みになってからご使用下さい。

Shinyu 進勇商事株式会社

OSAKA JAPAN

〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3丁目16-3
TEL (06) 6886-1722 (代表) FAX (06) 6886-1723 TEL (06) 6886-1724 (商品センター)
URL <http://www.shinyusan.com/> E-MAIL s-mail@shinyusan.com 携帯 URL <http://www.shinyusan.com/m/>



ピタリカラーネオは四層で構成されています。第1の層は透明の耐シンナー性の合成樹脂被膜、第二の層は耐シンナー性の着色合成樹脂被膜、第三の層は磁石を含んだ合成ゴム膜、第四の層は第一層と同じ被膜です。(実用新案登録 第1293497号)

合成樹脂被膜が主体ですので下記の注意書をよくお読みの上ご使用下さい。

「ピタリカラーネオ」ご使用上のご注意

- ①第三層の磁石膜がシンナーでおかされますので、第四層の被膜で補強しておりますが、裏面にはなだけ塗料が付かないようにご注意下さい。
- ②磁石膜がワレやすいので、各層で補強しておりますが、力を入れての180°の折りまげや、強くもんだりしないで下さい。
- ③ピタリカラーネオをシンナーの中につけないで下さい。各層がはがれてばらばらになります。
- ④各層の被膜を無理にはがさないようにして下さい。表面被膜の一部がはがれだした時は、その部分を切断して下さい。
- ⑤ピタリカラーネオを使用しない時もたえず平面な金属面に貼り付けておいて下さい。貼り付けないでくと、塗膜が乾燥するにつれ両端をひつぱり、端がそりますのでご注意ください。もし、端がそりましたら、塗膜をめくり新しく塗ると自然になります。
- ⑥耐熱性がありませんので80°以上の熱を長時間あてないで下さい。ピタリカラーネオ全体がやわらかくなります。ただし、ひえるともとにもどります。磁石の影響でわずかの熱でも急激に温度が上昇しますのでご注意ください。

「ピタリカラーネオ」より塗膜をはがす時のご注意

- ①平面な金属面に貼り付けて、紙テープのはみ出した所よりはがしはじめて下さい。
- ②塗膜が少しはがれましたらピタリカラーネオを片手で押え塗膜を上へ引っばるようにはがして下さい。ピタリカラーネオ自体を折りまげないようにご注意ください。
- ③新しくピタリカラーネオをご使用になる時、ラッカーを最初に塗装しておく、アクリル、ウレタン・純アクリル、アクリル、エナメル塗料等の密着の良い合成樹脂塗膜でもはがれやすくなります。塗膜をはがして再使用する時も同じです。
- ④③のようにしてない場合、アクリル、ウレタン・純アクリル・アクリルエナメル塗料等合成樹脂塗料は乾燥しすぎると塗膜が硬くなり、フィルム状にはがれず、ポロポロとはがれてはがしにくくなります。塗膜がゴム状の時はがすとフィルム状にはがれます。自然乾燥の時は塗装した翌日にはがすと理想的です。強制乾燥の時は乾燥後がゴム状の塗膜です。
- ⑤塗膜が硬くなりすぎた時は無理にはがさずに、その上に塗装しますと塗膜全体がやわらかくなりますので④の状態ではがして下さい。
- ⑥ラッカー、アクリルラッカーはどんな状態でも簡単にはがれます。